



もとみや 議会だより

第45号

平成28年10月発行

みんなで目指そう災害に強いまち！
(本宮市総合防災訓練)

平成27年度各会計決算審査		P.2～5
常任委員会視察研修報告		P.8～10
一般質問 11名が登壇		P.15～21

6,865万円 このように使われました

※ H28.3.31の住民基本台帳人口30,657人

土木費 24億8,110万円

市民一人当たり 8万931円

3



道路や河川・公園整備に

衛生費 129億3,876万円

市民一人当たり 42万2,049円

1



放射能対策や健康・環境衛生に

教育費 **22億6,194万円**
市民一人当たり **7万3,782円**
学校教育や文化芸術に

総務費 **17億7,741万円**
市民一人当たり **5万7,977円**
職員人件費や各種計画に

公債費 **9億6,484万円**
市民一人当たり **3万1,472円**
借金返済に

商工費 **7億9,742万円**
市民一人当たり **2万6,011円**
商工業・観光振興に

農林水産業費 **6億4,240万円**
市民一人当たり **2万954円**
農林業の振興に

消防費 **5億3,296万円**
市民一人当たり **1万7,384円**
消防・防災に

議会費 **1億8,473万円**
市民一人当たり **6,026円**
議員報酬・議会運営に

災害復旧費 **1億885万円**
市民一人当たり **3,551円**
災害復旧に

労働費 **1,397万円**
市民一人当たり **456円**
雇用・勤労者支援に

民生費 36億6,427万円

市民一人当たり 11万9,525円

2



子ども・高齢者福祉に

27年度 決算

一般会計 263億

市民一人当たり
約86万円！

安全・安心な暮らしのために！

9月定例会は前年度の決算を
審査する重要な議会です。
決算への質疑は次のページ！

一般会計歳入内訳

県支出金	129億1,321万円
市 税	40億6,423万円
地方交付税	36億7,058万円
繰 入 金	19億4,074万円
国庫支出金	15億9,468万円
市 債	12億4,270万円
繰 越 金	7億1,401万円
地方消費税交付金	6億 81万円
地方譲与税	1億8,230万円
分担金及び負担金	1億2,367万円
その他（使用料等）	4億9,688万円
総 額	275億4,381万円

小学校鼓笛隊パレード(本宮まゆみ小学校)

自主防災組織設立に働きかけを

消防費

問 平成27年度、自主防災組織の新規設立はなかった。積極的に働きかけては。

答 平成27年度は共助の重要性を広報や行政区長会議等でPRし、消防団や消防団OB会等の協力もいただき新規設立に取り組んだ。平成27年度にはなかったが、平成28年度に入り設立の動きがある。今後さらに取り組みを進めていきたい。

敬老会のあり方の検討を

民生費

問 敬老会の参加率は、一部高い地区もあるが全体的には下がってきており、開催のあり方を検討する必要があると思うが市の考えは。

答 一部の地域からはもう限界だという話も出ている。関係部署、地域づくり振興会や行政区などと協議し、来年度以降のあり方を検討したい。

空き家対策の進捗状況は

総務費

問 空き家対策事業は平成27年度の目玉事業のような形で取り組んだと思うが、どこまで進んでどのようなデータが得られたか。

答 前年度末に空き家の外観調査を行い、空き家として利活用が図れるのではないかとというのが322戸ほどあった。所有者の確認もほぼ完了し、現在はその所有者の方の意向調査の準備を進めている。



各会計決算額

会 計 名	歳 入	歳 出
一 般 会 計	275億4,381万円	263億6,865万円
国民健康保険特別会計	(事業勘定) 37億3,140万円	34億5,693万円
	(直営診療施設勘定) 1億1,125万円	1億 486万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,393万円	2億7,271万円
介護保険特別会計	(保険事業勘定) 23億 10万円	22億4,966万円
	(介護サービス事業勘定) 825万円	825万円
公共下水道事業特別会計	11億7,780万円	11億3,495万円
農業集落排水事業特別会計	7,451万円	7,153万円
工業用地造成事業特別会計	5億9,611万円	5億9,501万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円	1億1,462万円
水道事業会計	10億5,790万円	8億7,574万円
総 計	369億8,968万円	352億5,291万円

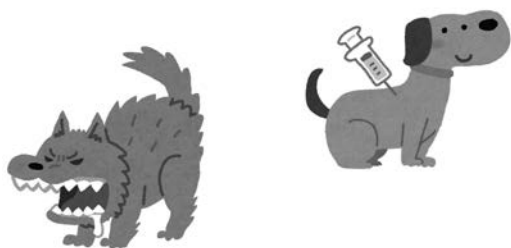
決算審査意見

監査委員による決算審査の意見では、住宅除染事業をはじめ、原子力災害からの復興に係る事業を最優先に取り組み、予算や事務量が増大している中でも「住んでみたい市」と「みや」の実現に向け、限りある財源の中で効率的な行政運営が図られており、さらに効率性や透明性を高めるために、次の事項について検討・改善を求めました。

- ①職員人事評価制度の導入では、職員の能力、適性などを十分把握し、透明性・客観性を持ち、能力・業績を重視した人事評価システム運用を構築すること。
- ②市税等の各種収納事務について、収入未済額が縮減する等、鋭意努力の成果が見受けられる。一方、不納欠損額が多額であり、負担公平の観点から、不納欠損に至るまでに的確な収納に努めること。
- ③経常収支比率が改善されたが、依然高い水準にあるので、引き続き、積極的にその改善に取り組むこと。
- ④老朽化した公共施設への対応や、今後のあり方について検討すること。
- ⑤人員配置や業務配分、事務事業の処理体制を見直し、勤務時間管理の一層の適正化を図り、職員の健康管理に留意すること。

予防注射未実施犬 減少策は

衛生費



問 狂犬病の予防注射をしない犬が全体の約2割、318頭いる。市は飼い主への指導や文書での通知などどのようにして改善するのか。

答 83.2%となり受診率が若干悪かった。こちらについては集団で予防注射を一度行い、その後通知をし、補正の注射をする。文書等を出したり、獣医師会を通して広報はしているがなかなかしてもらえない状況になっている。

放射性物質検査 縮小しては

農林水
産業費

問 農産物の放射性物質検査は検査数が減少しており、規模を縮小しても良いのでは。

答 総検体数は減少しているが、農産物は検体の多い時期と少ない時期とがあり、多い時期には1日10件以上ある日もある。一部の品目では基準値を超えたり、出荷制限がされたりしている中で、市民の利便性も考えると現在の3箇所での測定を継続して行う必要があると考えている。



東京事務所開設の考えは

問 国の助成や補助金、民間企業の地方進出などの情報をいち早くつかむために東京事務所を開設する考えはあるか伺う。

答 東京事務所の開設は考えたことがなく、経費や他自治体の調査もできていない。市長や議員、職員それぞれの国や県とのパイプを一つに集めながら積極的な補助金獲得に向けて動いていくのが今進むべき方向と考えている。

市道認定の方針は

問 宅地造成に伴い造られた位置指定道路を市道にはしなかったとのことだが、その方針は。

答 市の認定基準があり、また、すべてを市道認定していないというわけではない。位置指定道路はそのままにしておくとか後々問題が起きかねないということもあるので、どういう形で解決できるか取り組んでいきたい。

平成27年度決算の感想は

問 平成27年度の決算を終えて、どのような感想を持っているか。今後の市政運営も含め伺う。

答 一般家庭の除染も終了の見通しがついたところだが、中間貯蔵施設など課題もあり、市民の安心のために全力で進めていきたい。財政面では、健全化をしながら事業を進めていくことがおおむねできたものと思う。今後とも基金の積み増しや税収の増など財政健全化と併せて市民サービスの向上に努めたい。

職員管理についての見解は

問 監査委員の決算審査意見で、職員の人員配置や業務配分、事務事業の処理体制や勤務時間管理について触れているが、見解を伺う。

答 部署によって残業やイベントが多いなど問題点があり、本年度から各部長に部内の人事権を持たせ平準化に取り組んだ。財政規模が標準時に戻ってくる状況も見ながら、職員のアンケート調査の回答を良く読み、業務環境改善に努めていきたい。

市長への総括質疑

各会計決算認定など 29議案を可決

定

9

例

月

会

9月定例会（第3回本宮市議会定例会）は、市長から諮問1件、条例の制定や各会計補正予算など27議案と報告3件、議員からは発議2件が提出され、討論・採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情4件が提出され、審議の結果、2件が採択、2件が不採択と決定しました。

今議会には、平成27年度の各会計の決算認定が上程され、決算審査特別委員会を設置し、3日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

「被災児童生徒就学支援等事業交付金による十分な就学支援を要請する意見書」
「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出

福島県教職員組合安達支部から「国からの被災児童生徒就学支援等事業交付金による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書」、日本労働組合総連合会福島県連合会一本松・安達地区連合から「地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書」が提出され、審査の結果、採択となり、内閣総理大臣等に対し意見書を提出することとしました。

人事

人権擁護委員法に基づき法務大臣に推薦することに同意しました。

人権擁護委員（再任）

清水 マサ子氏（本宮字万世）

表彰

市の振興発展に貢献し、その顕著な功績が認められた方を功労者として表彰することに同意しました。

自治功労表彰

國分 良修氏（本宮字竹花）

本宮市消防団長（団長換算14年）

國分 関夫氏（糠沢字小田部）

農業委員会委員（16年9カ月）

特別功労表彰

坂本クリニツフ

院長 坂本 輝明氏（福島市渡利）

学校医（21年3カ月）

池田眼科医院

院長 池田 敏春氏（本宮字仲町）

学校医（22年9カ月）

一般会計
補正予算

13億9千万円を増額

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

仮置場整備費……………6億600万円

本宮駅東西自由通路等整備基金積立金
……………1億円

教育施設等整備事業基金積立金……………1億円

歳入

除染対策事業交付金……………6億815万円

前年度繰越金……………3億8,000万円

市税（現年課税分）……………1億1,500万円

市役所エレベーター改修工事 3,240万円

仮置場の造成に6億円

今議会に提出された平成28年度一般会計補正予算は、本宮地区および可燃性廃棄物の仮置場造成工事に要する経費や各種基金への積立金、市道路線の工事費や市役所エレベーターの改修工事費などが計上されました。

また、歳入では除染対策事業交付金や一般会計の決算に伴う前年度繰越金、当初見込みを上回った市税や普通交付税などが計上されました。

議案質疑

維持管理の考え方は

固 プリンス・ウィリアムズ・パークに英国庭園を整備するための設計委託料が計上されているが、完成後の維持管理が大切であり、しらすわグリーンパーク野球場なども含め今後の維持管理の考え方は。

答 個別より一括で管理する方が効率的とも考えており、今後どういう形の中で経費を縮減し、きれいな状況を保てるか検討していきたい。

どのようなロボットか

問 介護ロボット等導入支援事業では、どのような施設にどのようなものの導入を図っていくのか。

答 市内の特別養護老人ホームやグループホームなどへの見守りシステムや介護の負担を軽減するマッスルスーツ、ケアロボットなどの導入を対象としている。

総務文教常任委員会

一般会計補正予算（第3号）のほか議案3件、陳情2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

コミュニティ交流 広場条例制定

広場の管理人は

説明 コミュニティ交流広場内のパークゴルフ場の利用料金等について定めたもので、条例の施行時期は、広場が現在工事中であるため、別途規則において定める。

問 広場には管理人を配置するのか。また、申し込みや料金の支払い、用具貸し出しの対応は。

答 パークゴルフ場の管理棟に管理人を置き、用具の貸出や使用料の徴収を行うことを想定しているが、管理人の配置は、今後の利用状況や財政事情を勘案し判断したい。



▲現在工事中のコミュニティ交流広場

一般会計補正予算

情報ネットワーク 管理運営費

説明 総務省から要請のある情報ネットワークシステムセキュリティ強化のため必要な経費を補正する。

問 システムの耐用年数は。

答 5年保証と併せて購入するため、5年間の運用を想定している。

陳情の審査結果

陳情第7号「国からの被災児童生徒就学支援等事業交付金による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書」は、平成23年度に創設されて以降、同様の支援が本年度まで継続され、被災した児童・生徒の就学支援として重要な役割を担っており、避難生活を送り経済的支援を必要とする子どもたちの就学を保障する必要があることから、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

視察研修

研修項目

○富山県南砺市
「定住促進対策について」
○福井県あわら市
「HEECCE構想について」

期 日

○6月27日 南砺市
○6月28日 あわら市

研修結果

【富山県南砺市】

南砺市では、移住・定住促進の関連業務を一つの課に集約し、ワンストップサービスを実現している。ショッピングセンター内に設置され、土日祝日も含め午後9時まで開庁しており、市民が利用しやすい環境となっていた。

婚活支援では、市民の有志の方が中核となり、市が企画したイベント等における参加者の成婚へ向け支援を行っており、市民の方々の積極的な協力や支援は重要な要素であると感じた。移住・定住対策では、移住検討者を実際の生活を体験してもらうことで、移住に関する不安を解消しやすい仕組みとなっていた。

【福井県あわら市】

あわら市では、市の将来像である「若い世代が住み、生み、育てたくなるまち」の実現のために重要な分野である健康、教育、環境、コミュニティ、経済産業の英単語の頭文字を並べて市長がつくった「HEECCE（ヒース）」という造語により、市が目指す方向を体系化し、具体的にイメージしやすくしていた。目指すべき方向が明確になっていることで、職員の業務に取り組む姿勢や市民のまちづくりの活動がより活性化し、提案型の体制が構築されていることで、将来像の実現が促進されていると感じた。



▲福井県あわら市視察研修

生活福祉常任委員会

一般会計補正予算（第3号）のほか議案5件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定

制度の周知は

説明 本社機能を地方に移転または拡充した場合に、固定資産税が軽減されるものである。

問 制度の周知は。

答 企業誘致を担当する産業部と連携し情報発信に努めたい。

一般会計補正予算

記念樹の杜屋外あそび場整備事業

説明 プリンセス・ウィリアムズ・パークの英国庭園の基本設計および実施設計委託料を計上する。

問 英国庭園の候補地選定理由は。

答 県内の候補地の一つであったが、ウィリアム王子訪問の際にイングリッシュオークを植樹された経緯があり、関係者からの要請で選定されたものである。

陳情の審査結果

陳情第9号「所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める陳情書」は、家族給与を必要経費と認めることで、租税回避の手段として利用される恐れがあり、所得税法第57条を含めて議論が必要であることや、税の公平性の担保として、現行の申告納税制度を尊重すべきであるとの意見があり、採決の結果、賛成少数となり、不採択となった。

現地調査

稲沢字堂平地内の可燃性廃棄物仮置き場予定地および本宮地区仮置き場増設予定地の現地調査を実施し、現状について説明を受けた。



▲可燃性廃棄物仮置き場予定地

視察研修

研修項目

○宮崎県都城市

「新燃岳噴火の被害状況および火山防災対策について」

○宮崎県日向市

「新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業について」

期 日

○7月6日 都城市

○7月7日 日向市

研修結果

【宮崎県都城市】

都城市では、霧島山を取り巻く周辺自治体5市2町と連携し、広域で火山防災対策に取り組んでおり、防災以外にもさまざまな施策、事業で連携し、環霧島地域の活性化を図っている。また、新燃岳噴火を教訓に、噴火を想定した初動訓練や市民の防災意識向上を図るための「防災講演会」などを実施している。

本市でも、市民の防災意識向上を図り、安達太良山を取り巻く近隣自治体と連携し、「地域力」を活かした火山防災対策が重要であると感じた。

【宮崎県日向市】

日向市では、「市民との協働」と「地域力の活用」を基本理念としたまちづくりを目指し、新しい地域コミュニティの設立を推進している。

具体的には、学校区を1つの単位として「まちづくり協議会」を設立し、市民が相互に連携しながら地域づくりに参画し、地域への愛着や誇りを高め、地域の将来像を見据えた地域づくりと、住民自治や市民協働の意識の醸成を図っている。本市においても、地域コミュニティの活性化を図り、活力あるもとみや創出のため、市民協働による取り組みが重要であると感じた。



▲宮崎県日向市視察研修

産業建設常任委員会

一般会計補正予算（第3号）のほか議案5件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

農業集落排水事業 特別会計補正予算

農業集落排水処理 施設維持管理事業

説明 農業集落排水処理施設の機器の撤去に係る費用を計上する。

問 特別会計の来年度以降の取り扱い。

答 本年度で処理場の清掃や機器の撤去が完了となる。次年度は公共下水道事業に会計を統合する。

一般会計補正予算

畜産施設管理事業

説明 堆肥生産組合が所有する車両の更新を行うため補正を行う。

問 車両は相当傷んでいると聞いている。計画的な更新を行うべきでは。

答 生産組合で所有する車両は傷みが激しいものが多く、組合と協議し、財政健全化計画との整合性を図った中で計画的な車両更新を考えている。

生活道路整備事業

説明 市道館ノ越・関根線改良のための測量設計委託業務費を計上する。

問 道路設計の内容は。

答 隣地の小学校グラウンドの機能を保全した上で、歩車道の整備をどの程度行えるか検討するための概略測量設計である。

陳情の審査結果

陳情第6号「臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める陳情書」は、TPP発効の条件としてアメリカの批准が必須であり、アメリカが批准していない現状では日本も慎重に審議する必要があることから、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。



▲堆肥生産組合の車両

視察研修

研修項目

○兵庫県養父市
「国家戦略特別区域について」

○兵庫県小野市
「市街地でのまちづくりの推進について」

期 日

○7月4日 養父市
○7月5日 小野市

研修結果

〔兵庫県養父市〕

養父市は、人口減少で耕作放棄地が増え、地域の農業を守ることが困難な状況となり、第2次安倍内閣が掲げた「国家戦略特区」を活用し、耕作放棄地の解消や規制緩和による産業の活性化、人の移住を目指した。

農業生産法人の要件緩和や企業による農地取得の特例などが認められており、企業の農地取得により耕作放棄地が解消されたり、従業員が都市部から移住した事例もあるなど、多少の成果は出ているようであった。しかし、企業が倒産した際の農地の取り扱いなど課題を抱えており、制度改正の際などに改善の必要があると感じられた。

〔兵庫県小野市〕

小野市では都市再生整備計画を活用し、商業施設を中心とする地区に公共施設等の集約を実施している。施設の建設の際は、計画段階でNPO法人を設立し、幅広く民間の力を活用し、市民が企画に参加する仕組みを築き上げている。また、地区ごとに駅や交流施設を中心とした地区整備を行っており、地域コミュニティの活性化と、それに伴う定住促進に一定の効果を上げていくようであった。本市でも、中心市街地整備や駅周辺整備計画を進める中で、市民が計画に参加し、地域コミュニティを活性化することが期待できると感じられた。



▲兵庫県養父市視察研修

本宮駅周辺整備検討特別委員会

地域交流センター（仮称）、西口広場について協議 ～駅周辺駐車場は、立体化の方向性が示される～

8月10日開催の委員会では、市長の出席を求め、疑問点を確認した上で協議を行いました。

問 地域交流センターに、中央公民館・歴史民俗資料館等の機能を含めることは可能か。

答 建物の内部の変更は可能だが、公民館や資料館の機能を備えるとなると補助制度がない。その在り方や場所も含めて、新たに検討していかなければならない。やるのであれば、時間をかけしっかりとしたものを作るべきである。

問 建物の内容について、変更できる期限はいつまでか。

答 中條停車場線の拡幅に伴い、旧郵便局が取り壊しになるまでに新しい建物ができていなければならぬ。時間的幅は限られたものがある。

問 駅周辺の駐車場の問題をどう解決するのか。

答 土地を広げるのではなく、立体化することで有効利用していきたい。

質疑の内容を踏まえた協議の中で、建設場所については、大方の委員は計画どおり東口という意見でしたが、少数ではあります。西口という意見もありました。

また、駐車場の問題については、新たに立体化という方向性が示されたため、議会としては、駐車場の整備・確保を要望していくべきとの意見がありました。

なお、西口広場についての質疑および意見はありませんでした。

今回の委員会は、執行部から「本宮駅周辺整備に関する基本設計」の内容が示され次第、開催することとし、地域交流センターに持たせる機能等についての協議を行います。



▲現在の駅前駐車場

全議員で国への要望活動を行いました

8月4日に市長と全議員で国土交通省および根本匠衆議院議員に対し、「本宮市街地地区（第2期）都市再生整備計画事業に係る社会資本整備総合交付金の交付率堅持について」および「貸切バスを利用する通園通学バス運行について」の2件の要望書を提出しました。

「本宮市街地地区（第2期）都市再生整備計画事業に係る社会資本整備総合交付金の交付率堅持について」は、本宮駅東西自由通路をはじめとする駅周辺の拠点整備の財政的な支援（交付金交付率40%の堅持）を求めるもので、国土交通省の都市局からは、4割補助に向け最大限の努力をした。次年度以降も努力するとの回答がありました。

「貸切バスを利用する通園通学バス運行について」は、国のガイドライン改正により大幅に膨れ上がった

本市の通園通学バス運行経費を、従来の運行形態を維持するために変更命令の適用外とすることを求めるもので、昨年の要望以降に年間契約等に対する取り扱いが一部改正され、割引が適用されたところです。

根本匠衆議院議員からは、先日改善が図られたばかりなので、今回の要望については時間をいただきました。との回答がありました。



▲衆議院第二議員会館にて

本会議での討論

9月23日の本会議で、議案第73号、第82号の2つの議案について討論がありました。また、陳情第6号を採択、陳情第9号を不採択とすることにもそれぞれ反対討論がありました。

主な内容は次のとおりです。

議案第73号

平成27年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定

平成27年度一般会計の決算について議会の認定を求めるものです。決算の概要は、2ページから3ページのとおりでです。

反対討論

渡辺忠夫議員

定住促進の一環として宅地造成奨励金交付事業が行われた中で、造成された宅地に接続する道路は、後で苦勞しないように市道にしておくべきだがそうなっておらず、納得できない。

また、本宮駅周辺東西アクセス整備事業では、事業費の問題などで住民の声をよく聞くことが重要なことである。パブリック・コメントも行われたが、本来パブリック・コメントは住民の意見を聞く制度ではないと言われている。住民本位の行政、住民の声をよく聞いて、住民に寄り添った行政を進めることが求められている。

※賛成討論はありませんでした。

議案第82号

平成28年度本宮市一般会計補正予算

英国庭園整備の設計委託料などが計上されています。そのほか、主なものは7ページのとおりでです。

反対討論

渡辺忠夫議員

英国庭園の予定されている場所は、スポーツ振興の村として野球場を中心に整備された場所であり非常に疑問である。また、記念式典費は当初予算を加えると850万円を超す予算であり、合併して10年、白沢地区では1,200人も人口が減少しているのにそれだけの予算をかけてどのような式典をやるのか理解に苦しむ。さらに、本宮駅東西自由通路等整備基金積立金に1億円を積み増しするが、白沢地区でのバス運行が今年度から廃止され、定住促進のための住民の幸福度、満足度を考えると、マイナスなのではないか。

賛成討論

橋本善壽議員

ウィリアム王子が訪れて植樹された歴史があるからこそ、プリンス・ウィリアムズ・パークに英国庭園を整備するものである。このような話はめったにあるものではなく、大変素晴らしいことであり、グローバル化が進む中で交流の礎にもなり得る。子どもたちに何を残していけるかが私たちの責務であり、ぜひとも整備するべきである。

※賛成討論はありませんでした。

採択 反対討論 三瓶裕司議員

TPPに関しては本市議会としても交渉過程での情報の公開や、国益を損なわないように進めるべきとの意見書を国に提出してきたところである。参加各国との申し合わせもあり、情報公開は十分であるとは言えず、地方議会として、正確な知識、情報、状況が把握できていない状態である。日本の将来を大きく左右するTPP問題は、日本の現状、将来像を見据え、与野党の枠を超えて国会で徹底討論すべきであり、大局的な判断をされ、国益を損なわない結論を出すように求めるべきであり、批准の是非を求める意見書を安易に提出するべきではない。

陳情第6号
臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める陳情書

この陳情は、付託された産業建設常任委員会では採択としましたが、その決定について反対がありました。

※賛成討論はありませんでした。

不採択 反対討論 渡辺忠夫議員

所得税法第56条では、事業者の配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しないとされ、家族従業員の働き分を必要経費として認めていない。これは税金を納めてもらっ側からすると大変有利な解釈であり、商店や農家、零細業者の方々は配偶者が一人前の働き手として認められないことに大きな疑問と不満を持っている。青色申告すれば給料の経費が計算されるということだが、それを規定する第57条は第56条の代わりに定められたと言われており、第56条が本当であるので理由にはならない。そういう意味では人間の尊厳の問題であるのでぜひとも採択して意見書を提出するべきである。

陳情第9号
「所得税法第56条の廃止」を求める意見書の提出を求める陳情書

この陳情は、付託された生活福祉常任委員会では不採択としましたが、その決定について反対がありました。

9月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は14ページのとおり全会一致で可決されています。

会 派 名		みらい創和会					新 風 会					共	志誠会			無 所 属				
議員名 議案番号	川名	渡辺	円谷	三瓶	石橋今朝夫	渡辺由紀雄	國分	川名	山本	三瓶	菅野	斎藤	渡辺	根本	後藤	橋本	伊藤	作田	国分	渡辺
	正勝	善元	長作	幹夫			義之	順子	勤	裕司	健治	雅彦	忠夫	七太	省一	善壽	隆一	博	勝広	秀雄
議案第73号	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6号採択	●	○	●	○	●	－	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	○
陳情第9号不採択	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第63号	自治功労表彰について	同 意
議案第64号	自治功労表彰について	同 意
議案第65号	特別功労表彰について	同 意
議案第66号	特別功労表彰について	同 意
議案第67号	本宮市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定について	原案可決確定
議案第68号	本宮市ふれあい夢広場条例制定について	原案可決確定
議案第69号	本宮市屋内運動場条例制定について	原案可決確定
議案第70号	本宮市コミュニティ交流広場条例制定について	原案可決確定
議案第71号	本宮市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第72号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第73号	平成27年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第74号	平成27年度本宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第75号	平成27年度本宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第76号	平成27年度本宮市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第77号	平成27年度本宮市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第78号	平成27年度本宮市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第79号	平成27年度本宮市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第80号	平成27年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第81号	平成27年度本宮市水道事業会計決算認定について	認 定
議案第82号	平成28年度本宮市一般会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第83号	平成28年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第84号	平成28年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第85号	平成28年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第86号	平成28年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第87号	平成28年度本宮市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第88号	平成28年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第89号	平成28年度本宮市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決確定
報告第8号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について	
報告第9号	専決処分の報告について (専決第12号 本宮市屋内運動施設建設（建築主体）工事請負契約の一部を変更する契約について)	
報告第10号	専決処分の報告について (専決第8号 和解及び損害賠償額の決定について) (専決第9号 和解について) (専決第10号 和解について) (専決第11号 和解について)	
発議第6号	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書	原案可決確定
発議第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決確定
	議員派遣について	決 定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

陳 情 一 覧 表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提 出 者	審議結果
陳情第6号	平成28年8月22日	産業建設	臨時国会で TPP 協定を批准しないことを求める陳情書	安達地方農民連 会長 佐藤 佐市	不採択
陳情第7号	平成28年8月24日	総務文教	国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書	福島県教職員組合安達支部 支部長 穴戸 芳子	採 択
陳情第8号	平成28年8月25日	総務文教	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会二本松・安達地区連合 議長 高橋 馨	採 択
陳情第9号	平成28年8月25日	生活福祉	「所得税法第56条の廃止」を求める意見書の提出を求める陳情書	福島県商工団体連合会婦人部協議会 会長 河井千代恵	不採択

一般質問

市政を問う

9月定例会の一般質問は、11名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。
1議員2題、内容を要約してお伝えします。

16ページ：

■橋本善壽議員

- ・リアル宝探しに参加の考えは
- ・小中学校の汚染土壌の搬出状況は

■根本七太議員

- ・今のポンプ能力で対応できるのか
- ・二本松・金屋線改良の計画は

17ページ：

■石橋今朝夫議員

- ・消防団員の確保は
- ・振り込め詐欺防止対策は

■渡辺秀雄議員

- ・市道の維持補修の方針は
- ・農地の権利移動等の権限移譲は

18ページ：

■円谷長作議員

- ・小型無人機（ドローン）の活用を
- ・住宅取得者が本市を選んだ理由は

■斎藤雅彦議員

- ・ゲリラ豪雨の減災方法の検討は
- ・老人憩いの家の要望の反映は

19ページ：

■国分勝広議員

- ・子ども議会を開催しては
- ・基金へさらに積み増しすべき

■三瓶幹夫議員

- ・シルバー人材センターへの支援は
- ・グリーンパークのトイレ修繕は

20ページ：

■山本 勤議員

- ・万世・千代田地内の雨水対策は
- ・欠下・上千束を結ぶ橋への見解は

■渡辺忠夫議員

- ・歴史民俗資料館建て替えの考えは
- ・安達管内に特別支援学校の設置を

21ページ：

■川名順子議員

- ・日常生活用具給付事業の拡大を
- ・障がい者、高齢者施設の防犯策は



問 リアル宝探しに参加の考えは 答 県の動向を注視し判断する

橋本善壽
議員

問 県内で行われている「リアル宝探しコードF-6」は震災の年に始まった宝探しゲームであり、県内32市町村で35箇所が登録されている。本市にも多くの観光名所があり、観光都市を目指すならばこのゲームに参加すべきでは。

答 県内外から多くの集客が見込め、観光や景品となる本市の特産品のPRの面でも大きな効果がある企画であるが、問題も多々あるというところなので、県の動向を注視しながら来年度の参加は今後の判断としたい。

問 中小学校の汚染土壌の搬出状況は 答 小学校、幼稚園等は実施済み

問 発災後、子どもたちを放射能から守るため小中学校や公共施設の除染を実施した。埋設した汚染土壌を中間貯蔵施設に搬出するため、夏休みを利用し汚染土壌を掘り出すとのことであつたが、実績としてはどういった状況か。

答 国の方針が打ち出され、急ぎよ実施した事業である。小学校や幼稚園等は夏休みに実施した。中学校は中体連の新人戦等があり、大会終了後の11月以降に掘り出し、学校側と調整中である。

その他の質問

- ・企業誘致計画のオーダーメイド方式への認識は
- ・定住促進に向けた一般住宅地造成の取り組みは



リアル宝探しイベントコードF-6



現在の降雨量に対応できるのか（高木ポンプ場）



問 今のポンプ能力で対応できるのか 答 1.5倍に増強する計画である

根本七太
議員

問 台風10号が岩手県に上陸し、1時間に100ミリという驚異的な災害をもたらした。本市でも昭和61年8月5日の災害があり、内水処理の対応が急がれた。2基のポンプが設置されたが、地球温暖化現象と言われる降水に対応できるのか。

答 高木地区の排水ポンプ場は、阿武隈川平成の大改修時に2基設置され、平成13年4月に供用が開始された。しかし、近年降雨状況がかわってきており、それに見合うポンプ能力として今の1.5倍に増強する計画である。

問 県道二本松・金屋線の江口から北大沢間の道路拡幅について、この道路は通勤通学や生活道路として重要な役割をなし、特に地元の利用者から強い要望が出されているが、現況は。

答 この道路は通勤通学、生活道路として使用され、二本松方面は改良されたが、本宮方面は一部未整備である。県の今後の計画では、平成29年から平成33年までの5年で700メートルを3億円の事業費で改良する計画である。

その他の質問

- ・地方創生への取り組みの現段階の進捗状況は
- ・英国庭園計画に伴う駐車場確保について

問 市道の損傷の補修は、道路除染の関係もあり、十分ではないように思われる。当初7千万円くらいのかみ予算で、その後要望等で1億円強の予算になっているが、全面再舗装等できる予算の計画的な確保など維持補修の方針は。

答 全面再舗装などはかなりお金のかかることなので予算要望はしっかりとしたい。凸凹で不便な面はあるが多少のものは独自で補修し、まずは危険を回避し、通行止めをしない方法で実施していきたい。

問 農地の権利移動等の権限移譲は、農地法に基づく権限が、地域の実情を最もよく知る市町村農業委員会に移譲されることによつて、許可までの期間が短縮され、スムーズに土地の利用促進が図られるメリットがあるとすれば、本市でも権限移譲を受けるべきでは。

答 現在県では4ヘクタール以下での農地転用の許可の権限まで委譲できるという独自の制度がある。庁内の連絡会議を4回ほど開き、いろいろなメリットなど考慮し、来年4月の移譲時期に受ける方向で準備を進めている。

その他の質問

- ・県道本宮・熱海線の交差点改良について
- ・地域振興に対する取り組みについて



一時的な穴埋めではある程度しか持たない



市道の維持補修の方針は まずは通行止めをせず実施したい

渡辺秀雄
議員



屯所の改良も団員確保につながる

問 全国の消防団員数が人口減や高齢化で減少が続いているが、本市の団員確保と今後の見通しは。確保策として「消防団応援の店」があり、本市でも導入し応援すべきと考えるが。また、各分団から屯所などについて要望はあるのか。

答 市の条例で団員の定数を541名としており、県内で唯一満たしている。消防団応援の店については、消防団協力事業所表示制度の普及を図り、効果を検証しながら考えたい。要望の内容は、屯所の建て替えや置の交換などがある。

問 高齢者を狙った振り込め詐欺事件は今や日常茶飯事であり、次々と手口を変え高齢者からお金をだまし取る。被害者にならないため、どのような対応策を考えているのか。被害防止のため、さまざまな機能を搭載した電話機の導入は。

答 防災行政無線の臨時放送、定時放送により新しい手口を放送したり、被害防止のパンフレットを全戸配布したりと注意喚起を行っている。迷惑防止機能搭載の電話機の導入はなく、今後も装置に頼ることなく引き続き注意喚起に努めたい。

その他の質問

- ・遊休農地の実態は
- ・街路灯について



消防団員の確保は 現在、定数を満たしている

石橋今朝夫
議員

振り込め詐欺防止対策は 防災行政無線で注意喚起を行う

石橋今朝夫
議員



問 小型無人機（ドローン）の活用を

答 活用の調査研究を進めたい

円谷長作
議員

問 災害に備えての危険箇所の把握や災害時の被害状況調査等で、人が入ることによって心配される二次災害の防止に向けてもドローンの活用を。会津若松市はドローンを6機保有する会津大学と協定、南相馬市では購入費を計上している。

答 ドローンは災害時のみならずさまざまな分野で活用されている。国や県の動向、事業者からの情報収集、安全性やプライバシーへの配慮など調査研究を進めたい。危険箇所の確認に当たっては、ドローンは大変有効と期待している。

問 住宅取得者が本市を選んだ理由は、適切な宅地などさまざまな理由はあるか。

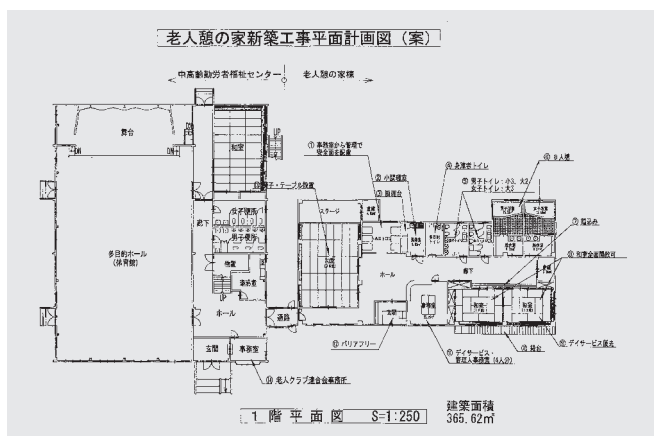
答 平成26年10月から定住促進策として、住宅団地開発や持ち家支援を行い、件数で224件、796人の定住増になつていくが、開発された住宅団地7箇所は、本市を選んだ理由が、また、住宅取得者が、本市を選んだ理由は、適当で安価な宅地、知人、住みやすい環境、保育所等さまざまな理由である。

その他の質問

- ・道路網などのインフラ整備、開発について
- ・平成28年度の予算執行状況について



さまざまな分野で活用が期待される（ドローン）



老人憩の家平面計画図（案）

問 床上浸水被害発生は、万世排水ポンプ場側への国道西側および国道からの排水流入により、計画区域以上の水が万世排水ポンプ場の計画強度46ミリの大幅に上回ったのが最大の原因ではないか。今後の防災・減災の対応は。

答 上江堀、下江堀というもともと田んぼに揚水する水路で、住宅地が建設された不用の用水路の閉塞を進めている。万世地区の排水路等の整備をしてきたが、今後は地元専門家や関係各者を交えた協議会等を設置し、減災について協議する。

問 8月の市議会全員協議会で新築工事の平面計画図案が提示されたが、7月に実施された説明会での住民の意見、要望は反映されているか。食をつくるスペースの確保は。

答 意見・要望を踏まえ、7日に近隣町内会の方々に説明会を行った。サロンの事業の料理提供のため、台所は要望が多数あったため、調理台を備えた調理室をどこまで広げるか検討している。

その他の質問

- ・市内の公共施設の防犯カメラ設置の考えは



問 ゲリラ豪雨の減災方法の検討は

答 協議会等を設置し協議する

斎藤雅彦
議員

問 老人憩の家の要望の反映は、台所の件は十分に検討する

問 高齢化が進み労働人口が減少している中、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる生涯現役社会の実現が重要となっている。地域社会の活性化と医療費の削減に寄与しているシルバー人材センターへの支援は。

答 シルバー人材センターは地域社会の活性化に貢献している組織である。認識している。市の補助金交付要綱に基づき、補助金として国が定める限度の範囲内で補助している。今後も現在の水準で運営補助をしていきたい。

問 楽天イーグルスグリーンプーク本宮野球場のトイレを、和式トイレから洋式トイレに修繕する考えは。

答 グリーンプーク野球場のトイレは、男女それぞれ3箇所、選手用2箇所、身体障がい者用1箇所の9箇所であり、身体障がい者用を除きすべて和式である。社会体育施設全体として、野球場を含めて順次トイレの洋式化を進める。

その他の質問

- ・生活道路整備について
- ・生活道路の安全対策は



より良い施設に（楽天イーグルスグリーンパーク本宮）



問 答 シルバー人材センターへの支援は 今後も運営補助をしていきたい

三瓶幹夫
議員



地域交流センター建設予定地の九縄東駐車場

問 18歳選挙権が施行された。将来の納税者の中核となる中学生の公民の授業の中に入っている市民と政治との関わりについて実践するため、子ども議会を開催してはどうか。

答 子ども議会は小中学校との調整を要することから今すぐ実現するのは難しいと考えているが、今後も教育委員会、議会と連携し、将来の有権者となる小中学生に政治や市政に興味を持つてもらえるような取り組みを行うていきたい。

問 都市再生整備計画事業の国の補助金が見込み額より下がり、約3億円不足するならば、事業基金を積み増しし5億6億円にすべきだが考えは。また、借金返済計画のうち平成42年度までの財政計画を策定するべきではないのか。

答 今回1億円の積み増しを計上した。今後とも後年度の公債費負担を考慮し、継続的に積み増しをしたい。期間は10年間を基本とした中で、ローリング等を踏まえた上で計画の見直しをして安定した財政運営を図っていきたい。

その他の質問

- ・地域交流センターは敷地に余裕のある九縄南駐車場に整備すべき



問 答 子ども議会を開催しては 今すぐ実現するのは難しい

国分勝広
議員

問 基金へさらに積み増しすべき
答 継続的に積み増しをしたい



新たな場所も含めて建て替えの検討を

問 郷土の歴史および民俗に関する資料を展示し、市民の教育、学術および文化の向上に資するため、歴史民俗資料館が設置されている。歴史文化を大事にすることを市政の柱と理解すべきである。資料館の建て替えの考えは。

答 歴史民俗資料館自体が歴史的に価値のある建物である。その保存・活用も含めて、今後社会教育施設の耐震化に伴う改修、改築の計画を策定するので、市全体として独立した施設が良いのか、統合すべきなのかなど総合的に検討したい。

問 安達管内に特別支援学校設置を求める会は、8千名近い署名とともに設置を求めている。保護者の負担軽減と障がい児教育の環境改善を図るため、安達管内に特別支援学校を設置することについて市の認識と考えを伺う。

答 今日、障害者権利条約の批准や障害者基本法の施行により障がいのある児童、生徒により良い行き届いた教育が求められている。市教育委員会としても安達管内に特別支援学校の設置を県教育委員会に要望している。

その他の質問

- 放射能廃棄物の仮設焼却場の建設について



問 歴史民俗資料館建て替えの考えは
答 総合的に検討したい

渡辺忠夫
議員



問 万世・千代田地内の雨水対策は
答 一時的な貯留施設など検討したい

山本 勤
議員

問 今年の8月5日の集中豪雨や台風7号、10号は予想進路の変更等から本市では比較的心配の少ない結果となった。過去の経験から市として減災方法の検討をしていと思う。万世・千代田地内の今後の雨水対策について市の見解は。

答 国道4号西側の雨水を直接安達太良川に排水できないか、塩田入団地など高台からの雨水を一時的な貯留施設を整備し、流下を抑制できないかなど、専門家の意見をいただきながら検討していきたい。

問 欠下・上千束を結ぶ橋への見解は
答 総合的に判断し考えていきたい

問 小幡からまゆみ小学校、本宮一中への通学は千束橋の利用が多い。定住促進、西部地区開発を考える上でも、欠下・上千束を結び本宮駅西口と直結できる道路、橋が必要と考える。問題もあるかと思うが市の率直な見解を伺う。

答 大森・一ツ屋線の計画があつたが、高低差があり断念した経過がある。市の総合計画や国土利用計画、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画との整合性を図り、必要性、緊急性、利便性を総合的に判断し考えていきたい。

その他の質問

- 復興公営住宅整備と賃貸状況は
- 成年後見制度現況と今後の支援は



千代田地内水害状況

議会を傍聴してみませんか

暮らしやまちづくりに関するさまざまな事柄を、市民の皆さんに代わって決定するのが市議会です。市議会と市長はお互いに討議し、協調を図りながらより良い市政のために努力しています。

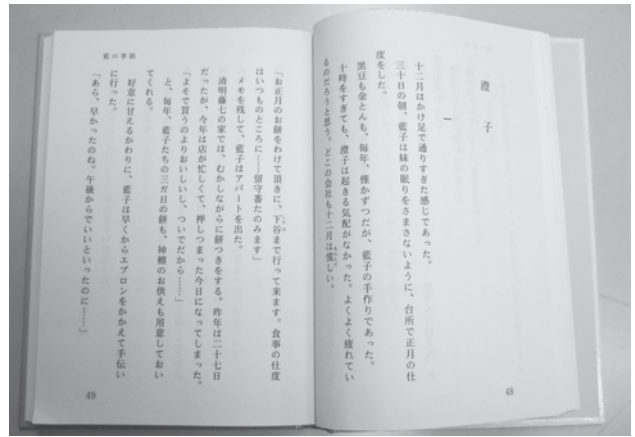
市役所3階の議事堂で開かれる本会議には、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と、必要に応じて招集される臨時会があります。議会日程は、市の防災行政無線とホームページでお知らせしています。傍聴は当日、住所と名前を記入するだけでどなたでも簡単にできます。持参するものも特にありませんので、ぜひ傍聴においでください。



「本宮市議会」で検索してね♪

ホームページアドレス

<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>



大活字本（平岩弓枝『藍の季節』 埼玉福祉会）



問

答

日常生活用具給付事業の拡大を
大活字図書等を検討したい

川名順子
議員

問

日本眼科医師会の調査では、高齢や弱視で読み書きに困っている人が164万人以上いる。厚生労働省は大活字本やデジ図書を日常生活用具給付事業の一覧に明記した。本市でも日常生活用具給付事業に加えるべきでは。

答

福祉の増進に資することを目的に、国・県補助事業の日常生活用具給付事業には45の対象種目がある。本市においても、来年度から大活字図書とデジ図書を対象品目に加えることで検討したい。

問

答

障がい者、高齢者施設の防犯策は
適切な対応に努めたい

問

職員体制の薄い時間帯を突き、抵抗できない障がい者を狙った相模原市の殺人事件は、計画的かつ凶悪で全国に衝撃を及ぼした。本市の障がい者施設や高齢者の介護福祉施設の防犯対策やマニュアルについて市は把握しているのか。

答

県の規定では施設の自主性に任されている。厚生労働省では不法侵入を念頭に置いた対策はなかったため、今回の事件を受けて障がい者施設や特別養護老人ホームなどを対象とした対策を出す方針であり、市も適切な対応に努めたい。

その他の質問

- ・非構造物の耐震化について

デジ図書…視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な方のためのデジタル録音図書のこと。



9月定例会を傍聴された方は58人でした。今回はその中から木下知也さん（高木字熊ノ木）に傍聴の感想をお聞きました。

議会傍聴感想

先日、市議会9月定例会一般質問の議会傍聴をさせていただきました。以前より一度は傍聴に行ってみようかなと思っておりましたが、今回、「高木地区を水害から守る会」の会員として初めて議会傍聴をさせていただくことになりました。

まず議場に入りますと、静寂で、質疑応答の声だけが聴こえてくるだけです。モットコムの議会放送は何度も聴いてはいたものの、議場での傍聴は緊張するものがありました。土地の有効利用等の議事であり、議員の方が登壇し、持ち時間（電光掲示板には30分間）いっぱい使い質問する内容は、市民の声や事前の調査を行い、議員の方々が日頃よりよく勉強していることがうかがえます。

市長や担当部局長の答弁内容で市政の現状を知ることが出来ます。

我々が地元で行う「会議」は一堂に会して議（は）決められた時間の中で議論する。とありますがどうしても時間オーバーとなったりします。

市の「議（は）会」は議（は）るために一堂に会して、決められた持ち時間の中で議論がまとめられている。

これからも、有効な議題を有効議会審議でよりよい「本宮づくり」をお願いいたします。



木下知也 さん

市議会も総合防災訓練に参加しました！ （バケツリレーによる初期消火訓練）



次回12月定例議会は
12月6日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
11月24日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営
委員会で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435(直通)

あとがき

1816年の安達太良大明神「正遷宮」から200年を経た今年9月、安達太良神社遷宮二百年祭が開催されました。

1806年2月南町・北町のほとんどを焼き尽くし、1810年3月にも再び全町を焼失する二度の大火災に見舞われましたが、氏子の献身的な寄進と協力の下、今の本殿および拝殿が再建されました。

平成29年1月に本宮市誕生10周年を迎えるに当たり沢山の記念事業が計画されています。子どもからお年寄りまで、誰もが笑顔で元気に安心して暮らせる本宮市でいられるよう、議会一丸となって取り組んでまいります。（斎藤）

発行責任者 議長 渡辺由紀雄
広報特別委員会 委員長 菅野 健治
副委員長 橋本 善壽
委員 三橋 雅彦
委員 石橋 朝夫
委員 山本 幹夫
委員 国分 勝弘
委員 渡辺 秀雄